­­­様式１－２<div align="center"></div>

ＩＳ研究計画書

|  |  |
| --- | --- |
| **IS研究課題名**（和文） |  |
| **IS申請者**（所属・職名・氏名） |  |

注）　１番～４番までを３ページ以内、５番は５ページ以内、６番は１ページ以内で記載してください。

|  |
| --- |
| **１　研究概要** |
| 本研究の概要について、和文（400文字程度）にて記載してください。 |
|  |
| **２　研究目的**実践プロジェクトに求めるもの（１）（２）（３）（９）関連 |
| 本欄には、以下を含め、研究目的を記載してください。①　当該研究の対象とする「地球環境問題」とは何か。その地球環境問題のどのような解決に資するのか。　②　研究の学術的背景（本研究に係る国内外の研究動向、申請者のこれまでの研究成果を踏まえ着想・問題設定に至った経緯等）。③　地球環境問題の解決につながる新しい枠組み・視点を提案し、それがなぜブレイクスルーにつながるのか。④　プロジェクトの最終目的として、何をどこまで明らかにするのか。　 |
|  |
| **３　研究計画・方法**実践プロジェクトに求めるもの（４）（５）（７）（８）関連 |
| 本欄には、以下について記載してください。①　研究目的を達成するための全体の研究方法及び具体的な手法、IS期間における具体的な研究計画について記載してください。②　FS移行の段階で所属希望の実践プログラムを１つ選んでください（プログラムへの配属はFS以降になります）。 |
| 希望プログラム名 |  |
|  |
| **４　期待される成果**実践プロジェクトに求めるもの（４）（５）（６）関連 |
| 実践プロジェクトに進展した場合に期待される最終的な成果及びその成果の国際発信について記載してください。 |
|  |

|  |
| --- |
| **５　研究業績**実践プロジェクトに求めるもの（２）（９）関連 |
| 本欄には、発表した論文、著書、招待講演、受賞歴、外部資金の獲得実績などと共に、本プロジェクトの運営に資すると推測される共同研究の運営実績、あるいは社会における実践的な取り組み実績なども記入してください。記載にあたっては、現在から発表年次ごとにさかのぼり、通し番号を付加してください。なお、IS申請者には、下線を付し、査読の有無を記載してください。 |
|  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **６　予算計画**　　　　　上限金額 1,000千円 | **所要経費合計** | **千円** |
| **旅費** | **合計** | **千円** |
| 国内/外国の別 | 旅行区間（時期） | 日数 | 回数\* | 金額 |
| 例）国内 | 東京～与論島（７月） | ３泊４日 | ２ | 　１８０千円 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |   |  |  |
|  |  |  |  |  |
| **諸謝金** | **合計** | **千円** |
| **物品費** | **合計** | **千円** |
| **その他** | **合計** | **千円** |
| 費目の例示 |
| 旅費： | 資料収集やフィールドワーク、打合せ旅費　等 |
| 諸謝金： | 研究調査等の協力謝金　等　※IS段階では、原則、人の雇用はできません。 |
| 物品費： | 消耗品　等　（ソフトウエアも含む）IS段階では、設備備品（単価10万円以上の機器類等）の購入は認められません。 |
| その他： | 会場費、印刷費、業務委託費、通信運搬費　等　（上記に該当しないもの） |

\* 回数は、延べ数で記載　例）２人分の旅費の場合は、「２」。